



# バンコク便り



## 1. はじめに

7月21日、山形県タイ友好協会（事務局：荘内銀行）の定時総会を開催いたしました。シントン駐日タイ王国特命全権大使よりオンラインでご挨拶を賜ったほか、総会後の講演会では、東北推進観光機構様から「アフターコロナのインバウンドの展望」と題したご講演をいただきました。

2021年度の事業計画においては、WEBを活用したセミナーや交流会を開催するほか、タイとの往来解禁を見据えた交流活動も企画しております。今後も観光・経済・文化・スポーツの幅広い分野において、両国の交流の架け橋として取り組んでまいりますので、引き続きご協力・ご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



2021 年度定時総会

## 2. 当地ビジネス情報

### （バンコク首都圏ロックダウン）

新型コロナウイルス感染症の拡大が続くタイでは、7月12日にバンコク首都圏においてロックダウンが実施され、20日には周辺の1都12県まで対象地域が拡大されました。ショッピングモールの閉鎖や夜間の外出禁止に加え、日中においても食料品の購入や治療等の外出のみに限定されるなど厳しい措置が取られています。こうした状況において食事の配達だけでなく、大手スーパーの生鮮食品から日用品の購入、さらにはコンビニ商品の購入まで、デリバリーサービスを利用する市民が大幅に増加しています。

タイではオンラインショッピングが普及していますが、中でも携帯電話を通じた購入が多いことが特徴です。個店においても大手ECサイトを活用した販売に留まらず、店独自に問い合わせから注文までの全ての対応にソーシャルメディアを活用しています。こうしたソーシャルメディアを活用したサービスは、アフターコロナでも続いていくことが予想され、業態を問わず今後のタイにおけるビジネス展開でも重要になっていくものと考えられます。



閉鎖されているモール内の店舗

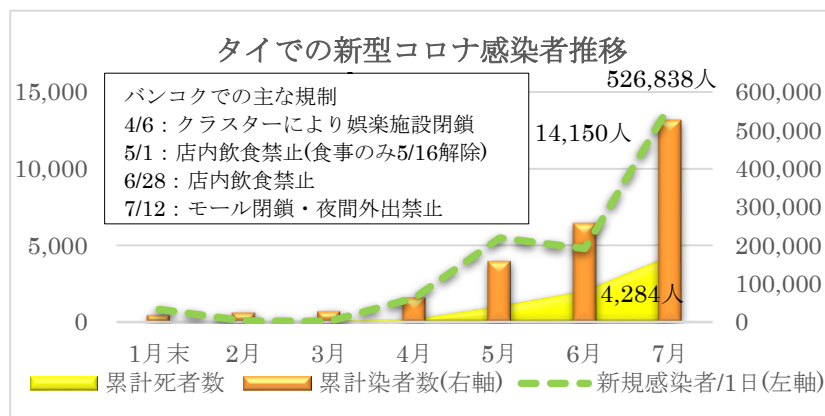
## 3. 現地トピックス

### （隔離免除の観光再開！）

リゾート地であるプーケット県では、ワクチン接種済みの外国人の隔離措置が免除される観光プログラム「プーケット・サンドボックス」が7月1日から試験的に始まりました。厳格な条件をクリアすればプーケット県内での移動が可能となるほか、14泊後には他県への移動も可能となります。15日からはサムイ島においても同様の取り組みが開始となり、周辺諸島にも移動できるようになりました。10月からはワクチン接種済みを条件にタイ全土での隔離免除が計画されており、本プログラムの成否が本格的な観光再開の鍵となりそうです。



サムイ島ホテルのビュースポット



【本件に関する連絡先】 営業推進部 地方創生室 石井・軽部・高橋・榎 023-626-9050

【作成協力】 カシコン銀行日系金融法人チーム（在バンコク）